

加悦椿文化資料館利活用に関するサウンディング資料

令和8年5月
与謝野町

与謝野町の紹介

- ・ 面積 : 108.38km²
- ・ 人口 : 18,855人(令和8年2月末)
- ・ 世帯数 : 8,891世帯

令和7年速報値

- ・ 観光入込数:333,772 人
(うちインバウンド宿泊客数) 2,031人



平成18年3月1日、加悦町・岩滝町・野田川町が合併し誕生した「与謝野町」は、京都府北部、日本海に面した丹後半島の尾根を背景とし、南は福知山市、東は宮津市、西は京丹後市、兵庫県豊岡市に接しています。大江山連峰をはじめとする山並みに抱かれ、野田川流域には肥沃な平野が広がり、天橋立を望む阿蘇海へと続く、南北約20キロメートルの間に町並みや集落が連なるというまとまりの良い地域です。

気候は、冬に降水量の多い日本海側の山陰型気候で「うらにし」と呼ばれる時雨が特徴ですが、春は桜、夏は新緑、秋は黄金色の稲穂と紅葉などの彩りに包まれ、また、冬は多くの水鳥が水辺に集います。川の流れや海の眺めが美しく、四季を通じて様々な景観を堪能できる地域です。

対象施設のある地域の紹介

壮大な大江山連峰に抱かれた のどかな田園風景が広がります



加悦椿文化資料館がある与謝・滝・金屋地域は、与謝野町の南部の自然豊かな農村風景が広がる地域です

東側には大江山連峰を望むことができ、四季折々の自然とその中で育まれた地域文化を随所に感ずることができます

また、近年ではビールの原材料であるポップの生産など地域特産物の探求も積極的に行っており、新しい取り組みにも力を入れている地域になります



与謝野町役場本庁舎

与謝天橋立IC

京都丹後鉄道与謝野駅

与謝野町役場加悦庁舎

加悦椿文化資料館

京都府指定文化財「滝のツバキ」

京都縦貫自動車道

与謝天橋立インターチェンジ
から自動車約30分

京都丹後鉄道

与謝野駅から自動車約20分

加悦椿文化資料館・滝のツバキ PR動画

与謝野町公式YouTubeチャンネルでは、「加悦椿文化資料館・「滝のツバキ」のPR動画を配信しています。

施設の状況や、京都府指定文化財「滝のツバキ」の開花状況など確認いただけますので、ぜひご覧ください。

【与謝野町公式YouTubeチャンネル】

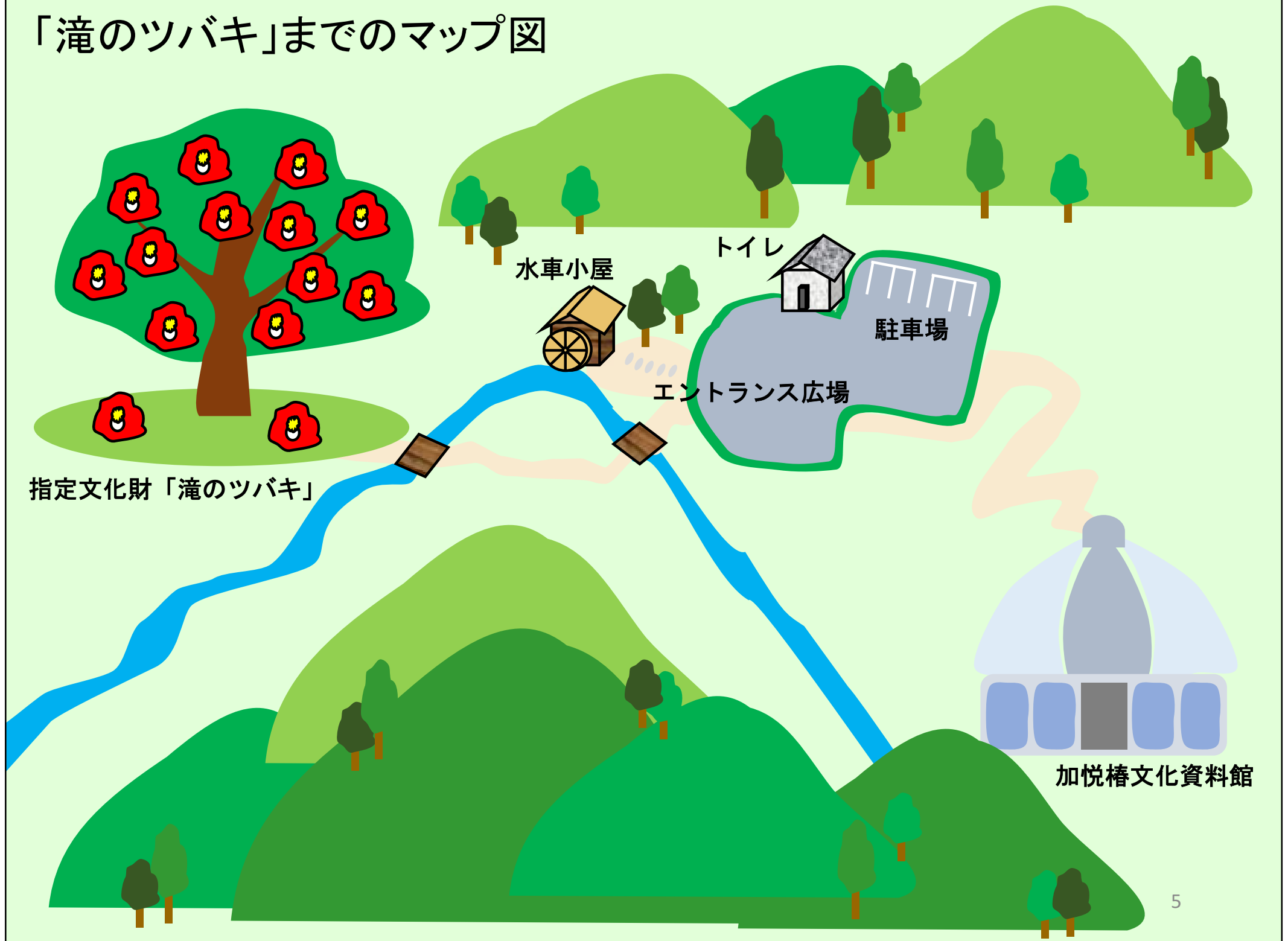
https://www.youtube.com/channel/UCP7smZk4cc6qpFf6Ag_kmZQ



与謝野町公式チャンネル
チャンネル登録者数 546人

チャンネル登録

「滝のツバキ」までのマップ図



水車小屋

トイレ

駐車場

エントランス広場

指定文化財「滝のツバキ」

加悦椿文化資料館

調査対象エリア内の施設の概要

施設名		加悦椿文化資料館	所在	与謝野町字滝1986番地
敷地面積		1517.30㎡（うち資料館 278.10㎡）		
建物概要		構造：RC造 階数：1階建 竣工年：平成8年 耐震診断：不要（新耐震）		
法令等制限	都市計画法	都市計画区域外		
	その他の法律	丹後天橋立大江山国定公園内（第2種特別地域）に位置しており、自然公園法に基づく一定の行為制限があります。施設整備等を行う場合には、関係法令に基づく許可が必要となる場合があります。		
施設の状況	施設名	設置状況	事業所名	
	電気	低圧受電	関西電力株式会社	
	上水道	接続済	与謝野町役場上下水道課	
	下水道	接続済	与謝野町役場上下水道課	
交通近接状況	鉄道	京都丹後鉄道 与謝野駅 物件の南方約12km・徒歩圏外		
	バス	丹海バス与謝線 滝バス停留所 物件の西方約3km・徒歩約50分		



調査対象エリア内の施設の概要

施設名	京都府指定文化財天然記念物「滝のツバキ」	所在	与謝野町字滝小字深山316番地（滝のツバキ公園内）
規模	樹高9.7m、枝張り・南北14m×東西13m、幹周3.26m（地際）		
概要	<p>学術分類：ツバキ科ツバキ属ヤブツバキ 樹 齢：不詳（国内屈指の椿の巨木であり「千年椿」と愛称されている。一説には、推定樹齢500年・600年とも1000年・1200年とも言われる） 開花時期：3月中旬～5月上旬 管 理：樹勢回復事業として町が毎年実施</p>		



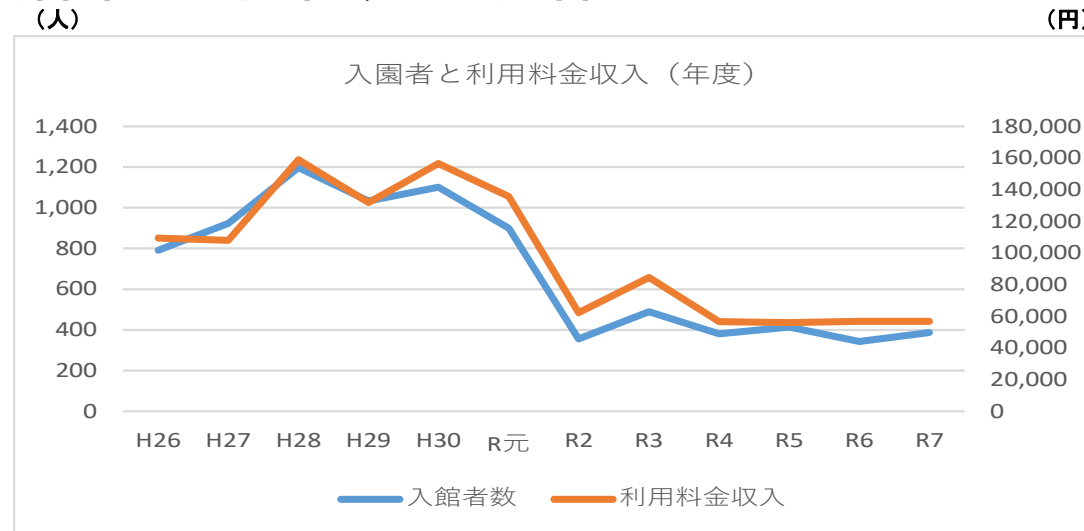
施設名	滝のツバキ公園	所在	与謝野町字滝小字深山316番地
施設概要	京都府指定文化財「滝のツバキ」鑑賞環境の向上を目的として整備された公園		
構成諸室	<p>①汲み取り式トイレ（非水栓） 構造：コンクリートブロック組積造 階数：1階建 竣工年：昭和64年 ②駐車場 構造：コンクリート舗装</p>		



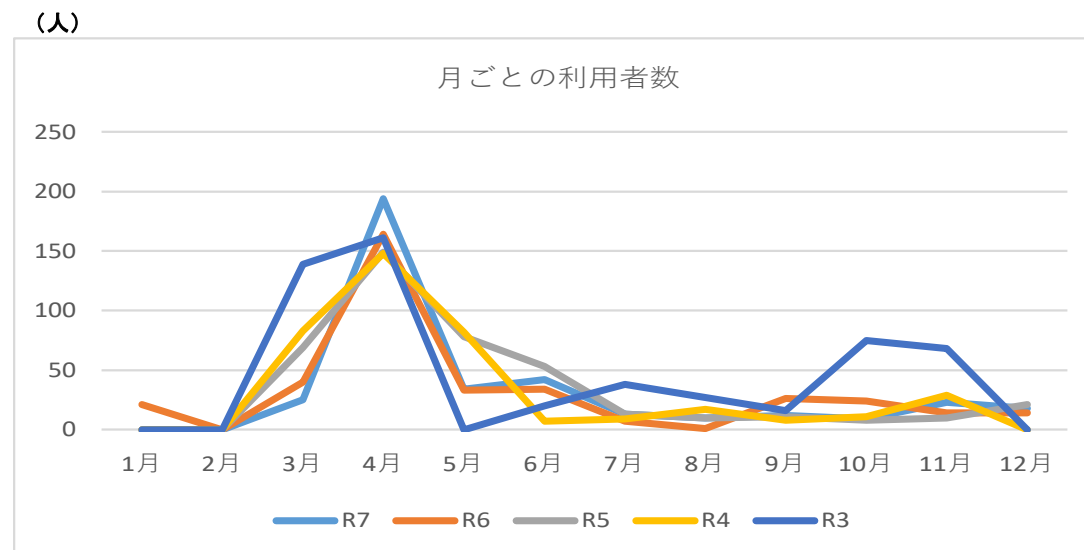
加悦椿文化資料館管理運営状況

加悦椿文化資料館は、令和8年度まで指定管理者制度を活用し管理運営を行っております。
しかしながら令和9年度以降の運営方法は未定となっている状況です。

■加悦椿文化資料館の入園者数と利用料金収入



■月ごとの利用者数



■ 指定管理業務の主な概要

① 施設運営に関する業務

- ・ 施設利用料金の徴収
- ・ 来館者への展示解説、館内案内
- ・ 京都府指定文化財「滝のツバキ」の案内
- ・ 利用促進のための椿に関する情報発信

開園時間	午前9時～午後5時
休館日	月曜日（その日が休日の場合は翌日） 年末年始（1月1日～1月3日、12月29日～12月31日）

区分	入館料	
	一般	小・中学生
個人	200円	100円
団体	150円	50円

② 施設の維持管理業務

- ・ 設備点検（空調保守：年4回、消防設備点検：年1回）
- ・ 施設および周辺エリアの清掃業務（資料館敷地・日本のツバキ園・滝のツバキ公園）

③ 事業の実施

(1) 指定事業

- ・ 京都府指定文化財「滝のツバキ」のガイダンス

(2) 自主事業

- ・ 椿油絞り体験
- ・ 夏椿鑑賞茶会

■施設収入

(円)

科目/年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用料金収入	56,650	55,850	56,900
指定管理料	2,507,000	2,649,000	2,649,000
その他（自主事業）	23,100	31,600	36,600
合計	2,586,750	2,736,450	2,742,500

■施設管理運営経費

(円)

科目/年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
人件費	1,333,600	1,221,600	1,335,250	
需用費	25,272	36,390	50,299	消耗品費
役務費	127,143	124,934	131,041	各種保険料/通信料
光熱水費	518,389	472,613	514,175	
委託料	553,942	602,440	604,820	機械警備/浄化槽管理ほか
修繕費	0	26,400	226,080	
印刷製本費	0	39,600	0	
雑費	23,720	40,568	23,184	
合計	2,582,066	2,564,545	2,884,849	

調査対象エリアにおける現状の主な課題と活用に期待する点

■ 主な課題

- (1) 来訪者の季節偏重
 - ▶ 椿の開花時期(春季)に来訪者が集中
 - ▶ 通年での安定した集客が弱い
- (2) 施設の活用制限
 - ▶ 加悦椿文化資料館の構造的制約
 - ▶ 老朽化による施設の魅力低下

■ 利活用に期待する点

- (1) エリア活用・空間の一体性の向上
 - ▶ 加悦椿文化資料館の民間事業者のノウハウを生かした管理運営の可能性
 - ▶ 加悦椿文化資料館と滝のツバキ公園を一体的に活用したエリア活性化の提案
- (2) 利用促進
 - ▶ 開花時期以外の来訪動機の創出(通年型誘客コンテンツの創出)
 - ▶ 滞在型・参加型プログラムの導入

◎ 自由な発想による企画提案をお待ちしております！ 14